

日本物理学会領域2運営会議 議事録

日時： 2013年3月27日(水)12:22 – 13:26
場所： 広島大学東広島キャンパス EA 会場
司会： 領域2代表 安藤晃
書記： 領域2役員 田村直樹
出席者： 約35名

報告事項

1. 今後の新役員体制案について説明があった。2013年4月の代表交代について紹介があった。2013年9月で退任する役員について紹介があった。次期役員について提案があり、これについて承認頂いた。(r2meeting130327 4ページ)
2. 2012年秋季大会における学生優秀発表賞の審査結果について紹介があり、次回以降も積極的に応募して下さるようお願いがあった。(r2meeting130327 5ページ)
3. 若手奨励賞(第8回(2014年))について説明があり、積極的に応募して下さるようお願いがあった。(r2meeting130327 6ページ)
4. 徳島大学常三島キャンパスで開催される2013年秋季大会について案内があった。(r2meeting130327 7ページ)
5. 上記年次大会において現在提案されている招待・企画講演、シンポジウムについてそれぞれの提案者から説明があった。(r2meeting130327 8-12ページ)
 - チュートリアル講演:「プラズマ波動とモード変換の物理」前川孝先生(京都大学)(提案者:出射浩先生(九大応力研))
 - 招待講演:「簡略化モデルによる L-H、H-L 遷移の時空間構造の解析」三木一弘先生(韓国 NFRI)(提案者:宮戸直亮先生(原子力機構)、代理説明:出射浩先生(九大応力研))
 - シンポジウム:「宇宙プラズマ無衝突衝撃波生成の大型レーザー模擬実験」(提案者:高部英明先生(阪大レーザー研)、代理説明:坂和洋一先生(阪大レーザー研))
 - シンポジウム:「乱流揺動実験の新展開」(提案者:藤澤彰英先生(九大応力研))招待講演の内容について、核融合研の伊藤先生からコメントがあった。
シンポジウムのキーワードについて、福井大学の斉藤先生よりコメントがあった。
シンポジウムの提案者に掛かる制限について領域2代表の安藤より説明があった。
招待・企画講演、シンポジウムの提案数の減少傾向が領域2代表の安藤より説明があり、積極的な応募をお願いする旨案内があった。
6. 新しい講演申込みの方法の提案として、学会企画セッションの申込みについて説明があり、これについて承認頂いた。(r2meeting130327 13, 14ページ)
学会企画セッションの実施要領について阪大レーザー研の兒玉先生より質問があった。
7. 上記、学会企画セッションへの提案として、「非平衡極限プラズマ」セッションの提案について説明があり、これについて承認頂いた。(r2meeting130327 15ページ)
8. 「プラズマ宇宙物理」3学会合同セッションについて説明があった。(r2meeting130327 16ページ)
9. プラズマコンファレンス2014(PLASMA2014)について説明があった。(r2meeting130327 17-20ページ)
現在案として出されている参加費等について説明があった。
10. APPC-12 について領域2前代表の菊池より説明があり、積極的な講演申込みをお願いする旨案内があった。(r2meeting130327 23-25ページ)
11. 日本学術会議の活動について代理で領域2代表の安藤より報告があった。(資料非公開)
12. 阪大レーザー研の畦地先生より、来年度日本で開催が予定されているレーザー関係の国際会議への積極的な講演申込みをお願いする旨案内があった。

以上